

# 令和6年度 各務原市立中央小学校 学校経営の全体構想

## 【願う子どもの姿】

- ・進んで学び、自ら考え、行動する子
- ・気持ちを理解し、認め合い、進んで協働する子
- ・夢や目標をもち、自分で考えてやりぬく子
- 児童会スローガン「 **(未定)** 」

## 【教職員の基本姿勢】

【キーワード】「志をもって今を輝く」

- 1 職場や仲間を大切にする
  - 互いに尊重し合い、チームで動く教職員
    - ・互いのよさを認め合い、組織に生かす。
    - ・想像力をはたらかせて動き、配慮範囲を広げる。
    - ・誰もがその分掌のリーダーとなる。
- 2 「子どものために」汗をかく
  - 点と点をつなぎ、線にして方向付ける教職員
    - ・意味や意義に立ち戻り、子どもの意欲や思い・願いを丁寧に引き出しながら、努力した過程や仲間のよさを大切にできる指導を行う。
  - 危機管理と安全・安心に行動で示す教職員
    - ・高い危機意識をもち、誠実、適切、迅速に行う。
    - ・生徒指導上の問題行動や不登校等の対応に、教育相談を基盤にしなが、未然防止、早期発見、迅速対応、関係機関との連携に組織で対応する。
    - ・食物アレルギー等、個別対応を共有し、見届ける。
  - 主体的に研修する教職員
    - ・自分の実践に「これでよし」とせず、新しいものと深められるものを絶えず学び続ける。

## 【学校運営協議会を核とした 家庭・地域・学校間・諸機関との連携】

- 1 小中連携、幼保中連携を充実させる
  - 同一中学校区の小学校間交流の推進
  - スムーズな接続のための幼保中との連携強化
    - ・幼稚園、保育園(所)との交流・情報共有を推進する。
    - ・児童会生徒会交流、小中合同挨拶を推進する。
- 2 保護者、地域との連携をさらに強化する
  - コミュニティ・スクールによる地域共通活動を通じた「地域とのつながりを感じられる子」の育成
    - ・「あいさつプラスワン活動」を啓発し、展開する。
  - 保護者や地域への情報発信と情報収集
  - 親と子、学校、地域が、一つになれる PTA 活動の推進

## 【願う学校の姿】

「あたたかさ」「活気」「誇り」あふれる中央小学校  
～自分と仲間、地域に誇りをもつ児童～

## 【学校の教育目標】

進んでやりぬく  
中央の子

## 【キーワード】

「夢や目標に向かって今の一步」

## 【指導の重点と具体的方途】

### 【学びづくり】

- 1 「分かった・できた」\*や「学ぶ楽しさ」\*が実感できる授業 ※課題に主体的に向き合い、他者との関わりを通して、課題を解決する学習
  - 中央小授業展開のスタンダード
    - ・「何をすればよいか」「何が分かればよいか」が見通せる学習課題の設定
    - ・自立解決、仲間と深め合う場の充実と、教師による個と全体の学びの価値付け
    - ・「努力したこと」「分かったこと」「深めたこと」「友だちから学んだこと」など、自己の変容を過程や努力から振り返る自己評価と教師の価値付け
  - 学習状況の把握と状況に応じた個別支援
    - ・つまずきと手立ての明確化及び努力の価値付け
  - 特別支援教育の充実
    - ・ユニバーサルデザインによる人的環境づくりにより、子どもにより学びやすい空気感を醸成
- 2 授業を支え、深める実践の充実
  - 中央小授業姿勢のスタンダード
    - ・意味や意義の充実と一人一人のよさを位置付けた学習規律の定着
    - ・気持ちを切り替えるあいさつ、話す・聞く場面における話型の定着、意思を示すハンドサイン挙手
  - ICT を活用した学習活動の充実
    - ・問題解決学習における情報収集やプレゼンテーションによる考えの発表
    - ・個に応じた学びを深めるための学習アプリ活用
  - 授業改善サイクル
    - ・学力調査や児童アンケート等を生かした授業改善

### 【仲間・こころづくり】

- 1 自主的、自治的な活動の創造
  - 一人一人に居場所があり、多様性を認め合い、互いに尊重し合って絆を深める児童会活動
    - ・願いや目標の設定と共有する場の位置付け
    - ・みんなで取り組む意識を高める評価
    - ・リーダー中心に自分たちの力で課題解決していく場の設定と企画・運営・評価する実践力の価値付け
    - ・ふわふわ言葉による他者評価「承認」と自己評価「貢献」「フィードバック」の相互評価の充実
  - 一点突破の核となる委員会のキャンペーン活動
- 2 相手を思いやる心の醸成
  - 道徳や学級活動、行事等を通じた集団ルールでの学びや人間尊重精神の育成
    - ・いずみ学級との交流活動
    - ・自分の行為の結果予測や、危険の予測回避など、先を見通す力の育成
    - ・道徳、人権教育、SDGs、共生による命の大切さを学ぶ機会\*の充実 ※ひびきあい週間(年3回)、あさがお思いやり宣言(中央小いじめゼロ取組)、命を守る訓練、情報モラル教室、登下校等の安全
  - ボランティア活動の推進
    - ・ボランティア手帳の充実と活動紹介の位置付け
  - 学級活動(朝の会・帰りの会を含む)の充実
    - ・自己決定の機会の位置付けと主体性を伸ばす話し合い活動、仲間のよさ見つけと見つけたよさの共有
    - ・社会性を養う SST や上級学年から学ぶ機会の位置付け

### 【暮らしづくり】

- 1 未来へあこがれと自信がもてる活動の発展
  - 伝統「あさがお活動」の充実と発展
    - ・歴史と伝統、新たな教育観に基づいた学校の歴史づくり(創立46周年)
    - ・「あさがお」の願いに基づく活動の創造と実践
    - ・児童の意見が反映される自主的な活動の推進
    - ・仲間のよさの見つけ合いと認め合い
  - 活気あふれる「生き方」の追求
    - ・キャリアパスポートの活用と、成長やよさの実感
    - ・6年「夢発表」を出口にした職業講話「志授業」を含めたキャリア教育、生活科探検(1・2年)、中央探検隊(3年)、環境・SDGs(4年)、福祉(5年)をテーマにした将来につながる地域学習、
  - ファミリー活動(縦割り活動)の充実
    - ・人と関わる喜びを児童が獲得していく活動の推進
    - ・リードする年長者の主体的な企画と丁寧な準備
    - ・「関わり合う喜び」を自信へつなげていく振り返り
    - ・思いを定着させる交流
- 2 安全・安心な学校生活の構築
  - 教育相談の充実
    - ・児童への温かい寄り添いと、粘り強い働きかけ
    - ・ケース会議の開催とスクールカウンセラー等連携
  - 危機管理と防災への心構えの強化
    - ・安全点検の確実な実施と適切な対処
    - ・防災意識を高める多様な想定訓練の実施
  - 体力づくり
    - ・コロナ禍を経た体力向上機会の確保

## 【学校経営の方針】

自分と周りの人を「大切にする心」を、子どもの存在や心を「大切にする心」で指導する  
・「自分は大切な存在だ」「仲間も大切な存在だ」「自分は周りの人の役に立っている」「ここが自分のよさだ」等、自他を肯定的に捉えられる機会を、教育活動の中で活かす。

## 【学校の課題】

- ・楽しい学校の創造(自己肯定感の高揚)
- ・確かな学力の定着(思考力、表現力、コミュニケーション力)
- ・自ら考え、適切に判断し、仲間とよりよい生活を求めていく「主体性」の育成

## 【市の方針】

- 誇り・やさしさ・活力のある児童生徒  
～一人一人が学ぶ喜びを実感～  
◇たくましく生き抜く力の育成  
◇安心して学べる教育環境の提供

## 【保護者・地域の願い】

- ・子どもが毎日元気で学校へ登校する。
- ・学校が安定・安全・安心な場所である。
- ・子どもの成長(学習、生活、体力、心)が感じられる。
- ・地域の活動に参加し、地域と交流する。
- ・将来、地域のために動く子になる。

## 【子どもの実態】

- ・温かい気持ちで仲間と関わり、よさを見つける優しい児童が多い。
- ・学習に対してまじめに取り組む児童が多い。
- ・物事を論理的に考えて表現することに課題がある。

## 【県の方針】

- 第4次岐阜県教育振興基本計画(岐阜県教育ビジョン)  
・多様な人とつながり、関わる力の向上と心の教育の充実  
・「ふるさと岐阜」での活動を通して学ぶふるさと教育の推進  
・将来を見据えた魅力ある学校づくりの推進